

## 健診検査センターニュース

No.536 号

## 運営委員会より

7月15日（水）平成27年度第4回の運営委員会を開催いたしました。

1. 特定健診6月の実施件数は、下記のとおりでした。

	6月受診数（前年比）	累 計（前年比）	函館市国保受診率 6月現在 / 目 標 3.20% / 30.0% 達成率：10.7%
函館市国保	1,576人（ 67人 104.4%）	1,743人（42人 102.5%）	
後期高齢者	800人（ 2人 100.3%）	842人（11人 101.3%）	
その他	217人（△11人 95.2%）	386人（34人 109.7%）	
合 計	2,593人（ 58人 102.3%）	2,971人（87人 103.0%）	

実施機関：104施設／登録機関105

○ 函館市より受診勧奨に係る協力依頼があり、『受診券をお持ちでない方の受診について』等のご案内、受診勧奨のためのポスター、チラシ等を当センターよりお届けしておりますので、よろしく願いいたします。

2. 27年6月の健診検査事業収入は、下記のとおりでした。

	6月（前年同月比）	27年度累計（前年比）
一般検査収入	104.7 %	103.8 %
健診収入	100.3 %	94.7 %
合 計	102.4 %	100.1 %

3. 職員1名の昇格について、報告がありました。

## 《 ちょっと一言 》

医師会健診検査センター運営委員広報担当の小葉松です。実は私、函館市医師会の推薦で函館市教育委員会委員というお仕事を8年ほどやっております。そのお仕事で去る7月21日に函館アリーナ竣工記念式に参加しました。実は函館アリーナもコンペで設計を選んでいます。そのコンペ当時も私は教育委員だったので、あの奇抜なデザインに大反対しました（が、完全に無視されました）。反対した理由は、丸い建物はそもそも建設コストが割高なことと将来のメンテナンスにもお金がかかる可能性が高いこと、使い勝手がよいとは思えないことなどです。あの奇抜な形があの場所の風景に溶け込んでいるかといえば、完全に威圧感ビシビシで浮いております。町の景観としてどうなの？ということも疑問です。

公共の施設は、本来その住民の財産ですから、何よりも地域住民の使い勝手を一番重要視すべきと考えます。しかし、コンペで設計を選ぶ人も、工事を発注する自治体も、なぜか「斬新なデザイン」に心を動かされるようです。函館アリーナ工事の入札は、応札なくやり直しになりましたし、果ては、あの斬新な屋根は（コスト的に？）日本では製作できず、タイ製だそうで、税金が海外に出て行ってしまうという、公共工事としてそれっていいの？というみそもついています。屋根の件は報道すらされていないのでは？と思います。そもそも建物の使い勝手は、その現場で働く人が一番よくわかっているのですが、設計段階で各競技団体の意見は聞いたらしいですが、運営現場の意見をどこまで聞いたのかも疑問です。

まあ、できちゃったものに文句を言っても仕方ないのですが、作っちゃった以上は、最大限に活用して、決して将来のお荷物にならないような運営をする必要がありますし、住民はそこを真剣にチェックしてほしいと思います。一人で頑張っている教育委員に応援をお願いします。

本当は今日は、高齢者移住の話の続きを書く予定でしたが、タイムリーな話題があり、脱線してしまいました。

（文責 小葉松洋子）

## 新規実施項目のお知らせ

平素より当センターをご利用頂きまして、誠にありがとうございます。  
さてこの度、下記の検査項目を外部委託項目として新規受託することとなりましたので、お知らせいたします。何卒、ご利用賜りますようお願い申し上げます。

**開始日**：平成27年8月3日（月）受付分より

**開始項目**：4383 デングウイルス NS1 抗原

検査方法	ELISA
採取容器 (採取量)	① 分離剤入り採血管 (血清 0.2ml)
保存方法	室温
所要日数	事前にご確認ください。
実施料	233点 (D012「感染症免疫学的検査」の「40」)
判断料	144点(免疫学的検査判断料)
備考	依頼件数によって、所要日数が変動いたします。

### ▼疾患との関連

#### ●デング熱

#### ●参考文献

Pok, et al : VECTOR-BORNE AND ZOONOTIC DISEASES 10(10) : 1009~1016, 2010.

#### ●デングウイルス NS1 抗原

このたび、新規保険収載されました、デングウイルス NS1 抗原の受託を開始いたします。

デング熱は蚊によって媒介されるデングウイルスの感染によって発症する急性熱性感染症です。デングウイルスの非構造蛋白である NS1 は感染細胞で合成され、細胞外に分泌される性質があり、特にヒトの細胞では盛んに放出されるため、血液中の NS1 蛋白の検出はデングウイルス感染の証明となります。

また、NS1 抗原を標的にした検査法は、ウイルス遺伝子が消失したあとも検出が可能であることから、デングウイルス感染の診断補助に有用であるといわれています。

## 検査受託中止のお知らせ

平素より当センターをご利用頂きまして、誠にありがとうございます。  
この度、下記の検査項目の受託を中止させていただくことになりましたので、お知らせいたします。何卒、ご了承賜りますようお願い申し上げます。

受託中止日： 平成27年8月21日（金）より受託中止

中止項目： 2857 HBV DNA 定量 [TMA]

代替項目	2601 HBV DNA 定量 [PCR(リアルタイムPCR)]
------	----------------------------------

## 診療報酬請求に関する審査事項のお知らせ

平素より当センターをご利用頂きありがとうございます。  
診療報酬の請求に関する審査事項につきまして、情報のご案内をいたします。

### 1. CRP検査の査定について

炎症性疾患の病名がない場合は、算定できない。

### 2. Fe、TIBC、UIBCの3項目について

同一検体で測定した場合は、その内2項目しか算定できない。

### 3. 特定薬剤治療管理料の疑義解釈について

ア、てんかん患者に対するフェノバルビタールの投与は、薬効分類が催眠鎮静剤、抗不安剤であっても適応にてんかん症状の記載があるので特定薬剤治療管理料の対象となる。

イ、躁病患者に対するリチウム製剤投与は、特定薬剤治療管理料の対象となる。